

トラック3

の田：強い海風が服をはためかせる音。遠くで波が寄せては返す音。

【位置：やや左 距離：中】

（少し儂げな感じで）

……風。強いね。

大丈夫。私も、さっき着いたばかりだから。

それに、考えることも多かったし。

……うん、こー。

思い出がたくさんだから。

山に囲まれた私たちの町の中で、

唯一、開かれた場所……。

（一呼吸いれてからゆっくり）

……。

それから、君が私に。告白してくれた場所。

（すこずつトーンダウンしていくように）

私の夢、他の誰にも打ち明けられなかったけど、

君にだけは、話せて……。

……ん。

……あの、さ。

この服の中、私の肌……。

どうなってるかと思う……。

……うん、肌。

【位置：中 距離：近】

（主人公の手をとって自分になぞらせるように）

……ほら、見て。

この手首。

それから、ここの関節……。

傷だらけになっちゃった。

（自虐のように）

……はは。

夢に憧れて、この海の方へ行って、行ったけど。

結局、こっになっちゃった。

（奥まで誘うように）

……ね、もっと見て。

服、たくしあげるから……。

SE:衣擦れ

んっ……んっ。

【位置：やや左 距離：近】

……うん、太ももも。あざだらけ。

これ、自分でやったんだ。
どうにもならなくて……。

【位置：やや左 距離：密着】

（ゆっくり触らせながら、ねっとり）

ほら、触って……。

綺麗って言ってくれた、私の肌。

病弱で、細くて、真っ白だった……。

んっ……。

んあっ……。

はあ……はあ……。

（一呼吸入れる）

……。

ずぼん、大きくなってる。

こんな私を見て、大きくしてくれたんだ……。

【位置：左 距離：密着、有声音囁き】

SE：ずぼんの上からをやる音

（少しからかうように、ゆっくりきすりながら）

……ほら、やつぽい。

「ん、固い……。」

「ふっ、嬉しい。」

【位置：やや左 距離：近】

（ズボンの上から太ももでこするように）

「このまま、しょ。」

私のこの、傷だらけの太ももに、おちんちん擦り付けて。

気持ちよく、なろ……？

「……ね。」

ズボン、脱がせるから。

（田：ズボンを脱がせる音

【位置：中 距離：近】

んっ……。

んっ、ん……。

出た……。

（呼吸しながら、自分の太ももを見てゆっくり）

おちんぽ、ぴくぴくしてる。

それに、すごい角度で私の太ももに……。

……。

【位置：やや右 距離：密着】

（顔をあげて、主人公の顔を観ながら）

……ん。

このまま、包みこんであげる。

海の冷たい風にあてられた、この、おちんぼ……。

あったかい太ももの中で……。

SE: 太ももでの抽送音

【位置：やや右 距離：密着、有声音囁き（密着、右の胸元のイメージ）】

★くゆっくりめの太ももピストン、呼吸多めの有声音囁き

んっ、んっ……。

んっ……。

ふふっ、君の。太ももに入った。

んっ……。

……どう？

あの頃より、少しふとめで厚さがついた

んっ、私のこ……。

柔らかくて、気持ちいい？

それに……んっ。

この、あざ。

おちんぽを強く刺激して……。

んっ……。

んっ。

気持ちよさそう。

んっ、んっ、んっ、ふう……。

……うん、わかる。

この中で、おちんぽ、むくむくしてるから。

そのまま腰、動かして……。

太ももの柔らかさと、私の傷。

おちんぽを気持ちよくするために、使って……。

んっ、んあっ、んっ、はあ、んっ、ふう……。

はは。

腰振り、してる。

……うん。

嬉しい。

んっ……。

好きだと言ってくれた、この砂浜で……。

裸足のまま、動物みたいに……。

んっ、んっ、ふう………。

【位置：中 距離：密着、有声音囁き（密着しながら胸元のイメージ）】

ね、今。どんな気分？

綺麗な夢を語ってた、私の、傷……。

激しくおちんぽ擦るの……。

んっ、んっ、んっ、ふう………。

ふふっ。

ここ、すごい立ってる……。

君の乳首……。

んっ、服、風でぴったしくっついてるから、バレバレ。

んっ、ふう………。

一生懸命、腰振って、気持ちよくなってること。

んっ、んっ、んっ、ふう………。

この中、直接触ってあげる……。

太ももでおちんぽ擦るだけじゃなくて……。

SE:衣擦れ

んっ……。

ふふっ、こども敏感なんだ。

少し触れただけで、おちんぽ跳ねてる。

こんな、小さい豆みたいなので、反応するの、
なんだかわい。

んっ、んっ、ふう……。

このまま……

んっ、中で、かりかり触っておいてあげるから……。

太ももピストン、続けて……。



【位置：やや左 距離：密着（密着しながら左の胸元のイメージ）】

★ゝ太ももピストン、少しだけ早める

んっ、んっ、んあっ、んっ、

はあ、はあ……。

あのき……。

んっ、んっ……。

ここで流したタイムカプセル。

覚えてる？

んっ……。

……そう。

学校で、10年後の自分に当てて、みたいな。

んっ、ふう。

でも、私たち、それがつまらなくて……。

んっ……。

前日に、二人だけであつまって、この海に流して……。

んっ、んっ、ふう………。

あのカプセル、どこかに、たどり着いたのかな。

んっ……。

それとも、暗い海の下で、寂しく、留まってるのかな。

んっ、んあっ………。

二人で書いた、夢……。

10年後の自分なんて、わかるわけも、なかったから……。

んっ、んっ………。

だから、夢だけ書いてき………。

んっ、んっ、んっ、ふう………。

【位置：中 距離：密着、有声音囁き（密着しながら胸元のイメージ）】

……うん、そう。

嬉しい、ちゃんと覚えててくれて。

んっ、んっ……。

音楽、好きだったから。

んっ、んっ、ふう………。

他の人には、言えなかった夢……。

ここには……んっ、そういうの、目指す環境もなかったから……。
CDすら売ってないところだし……。

でも、君だけは、ちゃんと話を聴いてくれて……。

この海で、褒めてくれて……。

うん、さつきまで……。

んっ、ずっと、そのこと考えてた。

はぁ………はぁ………。

今はもう、そんな場所で……。

んっ、んっ……

密着して、太ももに、んっ、おちんぽを挟んでるけど……。

はは。

んっ、んっ、ふう………。

この、果たせなかったのを……んっ、

思い出させる痣で……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ………ふう、ふう………。

私、海の方こうで……んっ、たくさんの大人、見てきた……。
必死に、夢を掴めたと思ったら、道具のように使われて……。

……んっ、だって、君が、私のこと、「大丈夫だ」って、
笑って、送り出してくれたから
戻ることもなくて……。

んっ、んっ、ふう……。。

でも、帰ってきちゃった……。

このままじゃ、壊れること……んっ、わかったから……。
だったらもう、君に壊されちゃおうって……。
他に、もう、何も思いつかなかった……。

んっ、んっ、んっ、ふう……。。

【位置:やや右 距離:密着、有声音囁き(密着、右の胸元のイメージ)】

お願い、もっと、激しくして……。

町から、対岸から、見られるかもしれないけど……。

んっ、んっ……。

いまは、私達だけの場所だから……。

んっ、んっ、んっ、ふう……。。

もつと、強く、腰、つかんで……

乱暴なおちんぼピストンして……。

私の身体、オナホにするみたいに……。

★く太ももピストン、早める 普通よりやや早めくらい

んっ、んっ、んあっ、ふう……。

……うん、嬉しい。

おちんぼ、私のおしりにこすれてる……

しっぽが生えてるみたいに……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、ふう……。

【位置：中 距離：密着、有声音囁き（密着しながら胸元のイメージ）】

ふうふう。

気持ちいい？おちんぼ。

こんな、隠れるところもないところで、

んっ……

おっぱい押し付けるような密着……。

んっ、んっ、んっ、ふう……。

乳首も……んっ、すぐくたつて……。

女の子みたいに大きくした……、

くりくりひっぱってあげる……。

くりくり……んっ、くりくり。

んっ、んっ……。

ふふっ、声、す……。

これ、そんなに敏感なんだ……。

それじゃ、このまま……。

私のおっぱいも、重ねながら……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ……。

【位置：やや左 距離：密着（密着しながら左の胸元のイメージ）】

女の子の、だらしなくて大っきい乳首……。

君の腕に……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、ふう……。

はは、息、激しくなった……。

私の身体で、興奮してくれてるんだ……。

いいよ、もっと。

君からも密着して……。

このおっぱい、潰すみたい……。

ほら。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、ふう……。

ふふうっ。

凄い音、してる……。

太ももと太ももがぶつかる音……。

ぱんぱんってえっちな響き。

波の音、もう聞こえないくらいに……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、ふう……。

それに、おちんぼがこされるたびに……。

ちゅぷちゅぷって水音が……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、ふう……。

……うん、さつきからもう、おまんこ、濡れちゃって。

ふふうっ。

あの時の匂いとは違う……

んっ、濃くて、頭がのぼせる匂いしてる。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、ふう……。

……はは。

大切な思い出も……。

んっ、んっ……。

全て、壊すみたいに……。

んっ、んっ、っ、ふう、んっ、んっ、んっ、ふう、

この海の先の世界、想像して、

綺麗な目で、夢を語ってたことも……。

んっ、んっ……。

全部、汚れた太ももで、

おちんぼ気持ちよくするために……。

はあ、はあ……。

んっ……。

首に、あったかい息……

んっ……。

当たってくる。

ふう……。

そろそろ、出そう？

……うん、わかった。

それじゃ、足、もつと絡めるから……。

君のおちんぽに、私の愛液、馴染ませるみたいに……。

んっ、んっ……。

一番激しく、して……。

んっ……。

滑りやすくなったと思うから……。

かさぶた、摩擦で広がるみたいに……。



★く太ももピストンラストスパート、やや早め、息も強めで

んっ、んっ、んっ、っ、んっ、んっ、んあっ、ふう、ふう

んっ、んっ、っ、んっ、ふう……。

太ももが、君の足に食い込むような、奥の奥……。

んっ、んっ、んっ、ふう、んっ、んっ、ふう……。

キンタマで作った、濃い精液。

私たちの思い出、塗り替えるみたいに、いっぱい出して……。

。

んっ、んっ、んっ、っ、んっ、んっ、んあっ、ふう、ふう

んっ、んっ、っ、んっ、ふう……。

うん、このまま……。

んっ、んっ、んっ、んっ、んっ、はあ、はあ、はあ、はあ、っ、

んっ、ふう、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ……。

SE, 射精



【位置：中 距離：近、密着から離れつつ】

（息を整えながら）

はあ……はあ……。

精液、出てる……。

ぴゅーぴゅーって。

はあ、はあ……。

【位置：やや右 距離：近】

（息を整えながら、少しからかうように）

ふふっ。

太ももから飛び出たおちんぽから、白いのが。

はあ、はあ……。

おちんぽ、すごくぴくぴくしてるから、たくさん出てるのがわかる……。

気持ちよかった？

私の身体、折れそうなくらい強く、握りしめて……。s

一番奥で、精液だすの。

【位置：右 距離：近】

はは。

呼吸、すごい乱れてる。

……よかった。

「このあざ、すこしヒリヒリするけど……」。

【位置：やや右 距離：近】

……いいよ。

求めてくれて、嬉しかったから。

はあ、はあ……。

【位置：中 距離：近】

今度は、ホンモノの使って、しよ、

あのときの続き……。

……うん。

もう、大丈夫だから……。

だから、今日みたいに強く求めて。